滋賀大学との共同研究　　和歌山県の健康寿命に関する共同研究　打合せ資料（議題）

* 打合せ当日にご回答いただければ大丈夫です。

「４」の目次のみ事前に送付をお願いします。

１　最終報告書での考察・提言はどのようなものになりそうでしょうか？

７月月末まで何とも言えない状況でございます。（最終報告書の結論部を参考にしていただければと存じます。データに基づいた寿命に影響する何かの結論は出せるとおみます。）

２　最終報告書の提出および第二回PT会議（最終報告会）はいつ頃になりそうでしょうか？

３　168個の変数を「スクリーニング」した理由とその方法について報告書に記載をお願いします。

　　細かい方法論（数式）については、「添付資料（Appendix）」という形で巻末に添付しても構いません。

　　　理由　→　今回の研究結果を受けて、今後、さらに解析を進める場合に必要なため。

　　　　　　　　使用したモデルが一般的なモデル（ロジスティック回帰分析等）でない場合、数式（プログラムは不要）等を記載して再現性を確保してください。

　　　　　　　　一般的な教科書に載っているような解析モデルであれば数式の記載は不要です。

論文では特に数式を数う多く記載することは想定していません。方法と適用データを記載すると、データ解析が可能が方がみると再現には問題ないと思います。

４　目次の提出のお願い

内容までは必要ありませんが、最終報告書で使用する「目次」を作成して送ってください（7月上旬の打ち合わせまでに）。

　　　　→　事前に確認したいため（体裁の確認や修正のお手伝いはできると存じます）。

　　　　　　また、最終報告書は紙媒体・電子媒体でお願いしておりますので、紙媒体に合わせた書式でお願いします（紙媒体ではリンク先に飛んだりはできません。カラーは可能です）

以下の5番の項目ありがとうございました。

それを参考にしてこちらから目次を作成します。

概ね似たような形式になるかと思います。

５　報告書の構成について

滋賀県の研究でもそうでしたが、報告書の結果部分が読みにくいので、一般的によく見かける下記の形式（①～⑥）でお願いします。

1. はじめに（Back ground）

　　　　　　→　研究背景

　　　　　　　　　→　現状（平均寿命と健康寿命の格差の問題等）

→　健康寿命に関しての先行研究の紹介等

1. 方法（Method）

　　　　　　→　データソースの説明

　　　　　　　　　→　滋賀県の研究を基に、更新されたデータを和歌山県が収集して滋賀大学に提出した旨

　　　　　　→　変数の説明（目的変数は厳密に説明してください）

　　　　　　　　その他の変数の説明（和歌山県が提出したファイルの引用可）

　　　　　　　　　→　「詳しくは添付資料参照」でも可能です

~~データの詳細を調べていただき、送っていただけたら記入します。なを、説明変数の詳細については全ての変数については無理なのでこちらから判断します。~~

　　　　　　→　分析方法（細かい or 専門的な部分は添付資料に回しても可）

　　　　　　　　　→　スクリーニングの方法及び厳選された変数で実施した解析の説明

~~分析手法等を記載します。~~

　　　　　　→　使用した言語（Rのバージョン）

1. 結果（Result）

　　　　→　記述結果（和歌山県が提供データをただ並べただけの記述統計）

スクリーニングの結果（168個がいくつに減ったのか）

~~スクリーニングは今回の分析のmainではありません。~~

~~より重要な部分はその以降となります。~~

~~なんの基準で変数を選んだのかについては記入しておきます。~~

　　　　　　　　分析の結果（今回の分析方法を用いた結果）

1. 考察（Discussion）

　　　　　　→　諸々の結果を踏まえた考察

先行研究と比較して結果に妥当性はあるのかの説明

~~先行研究との比較は行いません。これは三月の打ち合わせでも申し上げました。別のデータ、方法を使用しています。~~

今後の展望・提言

展望と提言はこちらからはしないことに合意した事項なので、提言は記入いたしませ。（昨年度の合意事案です。）

研究の限界

　→　ヘルスケア産業についても触れてください

ヘルスケアは数行程度で終わるかと思いますが、記載します。

⑤　　参考資料（Reference）

　　→　引用文献、参考文献

⑥　　添付（Appendix）

　　→　今回でいえば、データスクリーニングと分析方法。

　　　　その他、figureやtableが膨大になるようでしたら、こちらに回してください（和歌山県が提出した変数の説明含む）。

特に、「データの記述」と「今回の分析結果」は明確に異なるので区別してわかるように記載し、それらを踏まえた「今後の展望・提言」がどのようなものなのかははっきりと明示してください（一般の県民が読んでも分かるように）。

６　補足説明のお願い＜—~~寿命データは男女ごとに異なります。~~

滋賀県の研究でもそうでしたが、平均寿命・健康寿命の男女において使用している変数が異なっていることが一般的に考えても理解が難しいです。

　　この部分の詳しい説明の記載をお願いします。

例えば、滋賀県の研究で解析に用いられた変数は、

　男性

　　　　脳血管疾患

　　　　悪性新生物

　　　　糖尿病

　　　　虚血性発作

　　　　趣味娯楽率

　　　　スポーツ行動率

　　　　学習・自己啓発・訓練率

　　　　旅行率

　　　女性

　　　　脳血管疾患

　　　　悪性新生物

　　　　糖尿病

　　　　虚血性発作

　　　　脳内出血

　　　　アルツハイマー

　　　　ボランティア活動

　　　　健康・医療サービス活動

　　　　障害者を対象とした活動

　　　　文化活動

　　　　災害活動

男性８変数、女性11変数が使用されています（平成30年5月の滋賀県報告書P40より）。

女性の疾患系の脳内出血、アルツハイマーの２変数が非共通。行動要因は一つも共通点がありませんでした（逆に言えば４つしか共通項目がありません）。今回の和歌山県の研究でも、健康・平均寿命の男女で変数がいくつか異なっています。

異なる変数を使用して同じ目的変数の健康寿命を考察する流れがわかりにくいので、その過程の説明をお願いします（先行研究でこういった使用が一般的であれば、その先行研究を提示して説明をお願いします）。

「女性群においてボランティア活動は関連がみられたが、男性群では関連が見られなかった理由の考察」もお願いします。

　また、使用した変数の年度の記載もお願いします（変数によって年度が大きく異なるため。滋賀の研究では年度の記載がみられなかったため）。

以上、６点。細かい点も含まれますが最終報告へ向けて直前（や提出後）にバタバタすることを防ぐためにも事前のやりとりと修正が必要と考えております。

よろしくお願いします。